

利用学習計画書

平成25年4月8日

担当 第6学年 高橋 千鶴子

1 ねらい

今年初めて歴史の学習に臨む児童に、歴史学習に対する関心を高めるとともに、狩猟・採集や農耕などの生活の様子が分かるようにする。

2 評価

自分たちの身近な生活や地域の歴史の学習に関心を持ち、当時の狩猟・採集や農耕などの生活の様子が理解できる。

3 学習活動について

(大単元名) 日本の歴史

(小単元名) ○歴史博物館へ行ってみよう 1 縄文のむらから古墳のくにへ

(小単元の目標) 歴史博物館について知り、歴史学習に対する関心を高めるとともに
狩猟・採集や農耕の生活、古墳について調べ、大和朝廷による国土
の統一の様子が分かるようにする。

4 事前指導

- ・博物館にある各時代の多様な展示物があることを知り、年表と照らし合わせながら、歴史学習に対する関心を高める。
- ・資料をもとに、縄文のむらの人々の活動の様子や住居、服装に注目させるようにする。
- ・狩猟や採集が中心の生活であることに気付かせる。

5 当日の指導(活動)内容

(1) 縄文の森広場

1) 体験学習 全員で石のアクセサリ作りを体験

2) 見学学習 ・復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学

(野外・屋外の2グループに分かれる)

・探検ノートを用いて自由見学(時間があれば)

(2) 地底の森ミュージアム

2グループに分け、1グループが見学をしている間、一方のグループは体験をする。その後見学グループは体験、体験グループは見学を行う。

1) 見学学習 ・地下展示室解説付き見学

・1階展示室自由見学(学習ノート)

2) 体験学習 石器作り

6 事後指導

縄文の森広場、地底の森ミュージアムで分かったことをもとに、旧石器・縄文時代の歴史新聞を作成し、掲示する。

利用学習報告書

平成25年5月14日

担当 第6学年 菊地 貴博

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年5月10日（金）1～5校時

(2) 主な内容

- ・社会科の授業で、遺跡や遺物の観察・解説を通して旧石器時代・縄文時代の生活の様子を学ぶ。
- ・昔の道具や飾りである勾玉作り、石器作りを体験する。

2 送付する資料

児童の学習後の感想（3点 3名分）

H25,5,13

五月十日には、校外学習で縄文の森広場に行きました。そこで最初に勾玉作りを体験させて頂きました。スタッフの平塚さんを中心に、ボランティアの方々も教えて下さり勾玉作りがスタート！最初は勾玉の材料の滑石をけずりました。滑石はともやあらかい石だそうです。台形の形を削りました。次に滑石をマジ

ヱクで書いた目標の
 形に肩けブロックで
 がりかりと何度も何
 度も削ります。勾玉
 のくぼみの
 部分はヤスリを使
 った仕上げました。
 調整するたびに形が
 変わっていき、なん
 て事も。最後にみか
 ぐためのヤスリとワ
 グスをぬって完成！
 ひもを通して首にか
 けた時の達成感！！わ
 すれることない気持
 ちでした。世界で一
 つだけの自分だけの
 勾玉「マイ勾玉」完成
 でした！！

入口の高さは
約60cm!!

たて穴住居がありました。平塚さんから今まで気になつていた事を聞いたり教えて頂きました。今まで私はなせ一つの住居だけで火をたいているのだらう、と氣になつていました。平塚さんによると白アリを防止して長持ちするように、このことでした。つくった人すごいですね!



次に私たちは地底。
森ミュージウムとい
う場所に行きました。
ここは主に旧石器時
代とよばれる時代に
ついてを学ぶ博物館
で吉田さん(説明をし
て下さった方)による
と、平成8年の11月
にオーガンした場所
なんだそうです。も
ともこのあたりは
富沢遺跡という所で
長野南小学校が建て
られるはずの場所だ
ったそうなんです！
この地底の森ミュー
ジウムは大事な遺跡
などをそのまま大切
にするための大切な
建物なんですわ。

旧石器人は毎ばん、たき火などをして生活していました。石器を作り石器でお肉、魚などの食材を切つて食べていました。ヤリ先にも石器を使い石器をたくさん活用していたのでは？

ここまで、学習を通して…

私は今回学習を通して縄文人はとて頭がいいな…と感じました。きっと生活にたくさんの工夫がされていったのだな、と思ったり旧石器人も生活が大変だったのだらうな、と。とても楽しい学習でした。

校外学習の

まとめ

B男

H25,5,13

おずかしかった 勾玉作り

五月十日、ぼく達は校外学習で縄文の森広場に行きました。まず最初に勾玉作りを体験させてもらいました。その前に、勾玉とは昔の人で占い師などの人しかつけられなか、たネ、クレスです。これの作り方はここで働いている平塚さんに教えてもらい作り始めました。まず勾玉の材料の滑石にマジックで形を書きました。そ

して、ブロッコで書いたところによって何回もけずりました。何回もボラニテアのの人に聞いて形を整えや、そのことで形が出来あがりしました。細かい所はやすりでけずり、みかきをはけるやすりでつるにしました。そして最後にワックスをぬってピカピカになり完成しました。昔の人でもあまりつけられなかつたそうなので家で大切に保管してようと思いました。



縄文の森 広場とは!!

縄文の森広場は、山田上ノ台遺跡という遺跡でおおよそ四千年前ぐらいの遺跡だそうですね。ここでは本当に土器がはくつされ、ここに縄文の森広場が出来ました。たて穴住居の跡も見つかり復元し、実際に入ってみました。中は以外と広く、昼なのに家の中はとも暗かったです。そしてこげくさかつたです。が、火をたくことにやり、アリの防止をしたり家を長持ちさせるためにくさくさなっていると言っていました。

旧石器時代の森 石器時代!!

旧石器時代は石器を作り、生活していました。今日は昔の人の生活をさいげんした映像を見ました。まず昔の人は火のたきかりのために石器作りを始めました。そして暗くなると火をたくことが分かりました。そして火をたいた後、肉も火で焼いてました。かりで何も取れなくても保管してた肉を食べてることも映像を見て分かりました。今日、もうゆう昔の生活を見たのでこれから見えるか分からないので忘れないうにしたいです。

おずかしすぎる 石器作り

地底の森ミュージアムに来て最初にしたことがこの石器作りです。今日はそのやりの先につけるものを作りしました。まず石をえらび、その石のたが、ているところをやりの先にし、しかのつのでわってとがらせていきました。石も思いどおりにわれなかつたので昔の人はそれほどすごかつたことが分かりました。あまり思ひどおりに出来なかつたけどきょううな石なので大切にしておきたいです。

楽しかった

校外学習

H 25.5.13

C 子

自分なりに 作れた勾玉

5月10日、私は校外学習で縄文の森広場と地底の森ミュージアムに行きました。午前は、縄文の森広場で勾玉作りと縄文ムラの見学でした。始めは勾玉作りで作る前に説明がありました。勾玉を作る石は人間のつめよりやわらかいことが分かり、てびっくりしました。始めに石にマジックで形を書きました。どのような形に

しようかなやみましたが、自分なりに書けて良かったです。次に、線にそってブロックでけずりました。ボランティアの人に、ブロックを水でぬらせばやりやすいよと言われて、ブロックに、ぽい水をかけました。その次に、自分で良い形になりました。やすりで勾玉の内側を竹とやすりを使ってやたら、良い勾玉が作れました。最後に別のやすりで勾玉をみがいて、ワックスを

初めて見た たて穴住居の 中！！

つけて、ひもをつけました。ひもの端を方は、私が思った結び方じゃなか、たのむ少しが、くりしたけ、自分なりの勾玉が使われて良かったです。

地底の森 ミュージアム

午後、地底の森ミュージアムでした。始めに、石器作りをしました。石を何で割るかというところ、なんと、しかの骨でたたくと、いっぱい割れました。どこを先っぽにするかなやみましたが、ちゃんと、かっただ石器が作れました。



富沢には、 絶滅種の木が あった

旧石器時代の富沢には、絶滅種の植物があったそうです。名前は、トミザワトウヒーという名前です。今はありません。一番トミザワトウヒに最も似ている木は、アカエゾマシドだそうです。

まとめ

縄文、旧石器時代のこと教科書にのっていないことまで知れて良かったです。体験もいろいろできたので、とても勉強になりました。